

CSDB

Chugoku-Shikoku Defense Bureau

中国四国防衛局広報誌



特集 海上自衛隊/米海兵隊岩国航空基地 フレンドシップデー2025



中国四国防衛局

Vd. 68

June 2025

目次 Contents

2 特集

海上自衛隊/米海兵隊岩国航空基地 フレンドシップデー2025

- 5 陸上自衛隊原村演習場における米軍単独訓練の実施
- 6 陸上自衛隊日本原演習場における米軍単独訓練の実施
- 7 中国四国防衛局による広報活動（自衛隊記念日、フレンドシップデー）
- 8 完成施設の紹介（陸上自衛隊 米子駐屯地）
- 9 中国四国防衛局 入省式（令和7年4月1日）
- 10 令和7年度 中国四国防衛局初任者研修
- 11 中国四国防衛局 人事異動のご挨拶（令和7年4月1日付）
中国四国防衛局 退職者表彰（令和7年3月31日）
- 12 中国四国防衛局 玉野防衛事務所のご紹介
中国四国防衛局 職員日記（玉野防衛事務所）
- 13 中国四国防衛局採用広報活動
在日米軍基地で勤務する従業員募集のお知らせ



表紙について
令和7年5月4日（日）
海上自衛隊/米海兵隊岩国航空基地
フレンドシップデー2025
「海上自衛隊アクロバット飛行チーム
（ホワイトアローズ）による曲技飛行」

CSDB
Chugoku-Shikoku Defense Bureau



Vol. 68
June 2025

編集・発行
中国四国防衛局
（広報委員会編集）

〒730-0012
広島県広島市中区
上八丁堀6-30

Tel
082-223-7109

中国四国防衛局HP



編集後記
これからも中国四国防衛局の情報をお届けします！

中国四国防衛局
広報
X（旧Twitter）
@chushiDB_koho



海上自衛隊/米海兵隊 岩国航空基地フレンドシップデー2025 令和7年5月4日（日）



海上自衛隊の公式アクロバット飛行チーム「ホワイトアローズ」
小月航空基地の操縦教官チームで曲技飛行を披露しました。（表紙写真参照）



昨年新たに岩国航空基地に配備された
空母艦載機仕様のF-35C戦闘機（写真
左）とCMV-22Bオスプレイ輸送機（写真
下）が展示されました。



海上自衛隊US-2救難飛行艇の
地上展示（写真左）

特集 海上自衛隊/米海兵隊
岩国航空基地フレンドシップデー2025

最新鋭ステルス戦闘機F35Bや昨年岩国基地に配備されたCMV22オスプレイ、海自救難飛行艇US-2などの航空機が多数地上展示されるとともに、訓練展示などが披露されました。

天候にも恵まれ、海兵隊航空部隊と米空母航空団による展示飛行、陸・海・空各自衛隊の航空機による展示飛行、また、今回初参加となった海自小月航空基地のアクロバット飛行チーム「ホワイトアローズ」による航空ショーが行われ、会場を訪れた約13万人（主催者発表）の家族連れや航空ファンを沸かせました。



KC-130とF-35B
による空中給油の模擬展示



陸自V-22オスプレイ



(右)海上自衛隊第31航空群
石川群司令
(左)米海兵隊岩国航空基地
ラスノック司令官



空母航空団による展示飛行



空自F-2戦闘機



F-18スーパーホーネット



F35B



米海兵隊による訓練展示



空自C-2輸送機



空自E-2D早期警戒機





陸上自衛隊原村演習場における米軍単独訓練の実施

令和7年3月13日から19日までの7日間、広島県東広島市に所在する陸上自衛隊原村演習場において、米海兵隊岩国航空基地を拠点とし、主に飛行運用の支援を行う海兵第171航空師団支援中隊による単独訓練が実施されました。

本訓練は、平成3年8月に初めて実施されて以降、今回が56回目であり、演習場区域における一般訓練（掘削訓練、重機操縦訓練、浄水訓練等）及び基本射場における小火器射撃訓練がそれぞれ実施されました。

本訓練実施にあたり、当局はこれまでと同様、訓練前においては、同部隊の訓練責任者に対し、演習場を使用する際の注意事項等を説明し、事故なく訓練を実施するよう要望するとともに、関係自治体等へ訓練実施期間及び内容等を通知しました。

また、訓練期間中においては、職員を連絡員として現地に派遣し、同部隊や自治体との調整や連絡など所要の対応を行いました。

同部隊は、最大限の安全確保等を行い、訓練は目的を達成し、岩国航空基地に無事に帰還しました。



射撃訓練



重機操縦訓練

日本原演習場

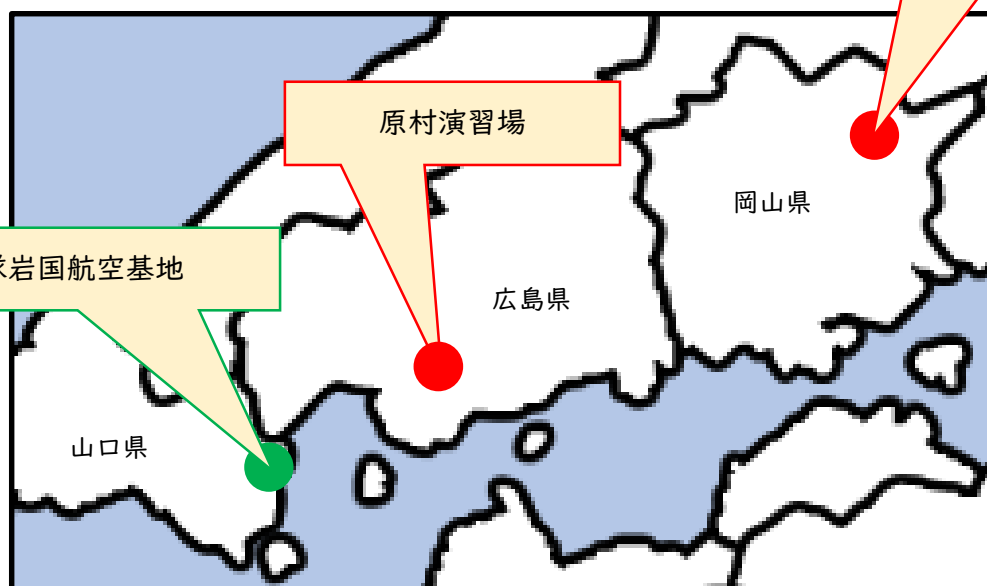
原村演習場

岡山県

広島県

米海兵隊岩国航空基地

山口県



陸上自衛隊日本原演習場における米軍単独訓練の実施

令和7年3月14日から21日までの8日間、岡山県の陸上自衛隊日本原演習場において、米海兵隊岩国航空基地を拠点とし、主に地上部隊への車両整備支援を行う第36戦闘補給部隊による単独訓練が実施されました。本訓練は、平成30年10月に初めて実施されて以降、今回が7回目となります。

同部隊は、日本原駐屯地内に設置した指揮所を拠点として演習場での射撃訓練、一般訓練（パトロール訓練、車両の機動訓練、基本救護訓練）を実施しました。

訓練に先立ち行われた米軍による現場確認の際に、同部隊の訓練責任者に対し、陸上自衛隊や当局から訓練にあたっての注意事項等を伝達するとともに、訓練中も随時状況を確認するなど、十分な安全管理のもと訓練が実施されました。

訓練期間中に当局が実施した対応として、地域の皆様の安全・安心を第一に、日本原駐屯地内に現地連絡本部を設置し、24時間態勢で連絡員を配置し、地元自治体等との連絡調整、車両による演習場外周の巡回、夜間の宿営地の巡回などを行いました。

訓練期間中には雪が降り出すなど、厳しい環境の中での訓練となりましたが、同部隊は、最大限の安全確保等を行い、訓練は目的を達成し、岩国航空基地に無事に帰還しました。



射撃訓練



防衛局の現地連絡本部



防衛局職員による巡回



防衛局職員による米軍車両の誘導

中国四国防衛局による広報活動(自衛隊記念日、フレンドシップデー)

中国四国防衛局では、防衛省・自衛隊の各種政策や活動をより広く国民の皆様を紹介するため、当局管内の基地・駐屯地の記念行事等において、広報ブースを設置し、防衛白書ダイジェスト版、防衛省・中国四国防衛局の採用パンフレット、各種装備品のポストカード等を来場した方々に配布するとともに、デジタルサイネージを利用した広報活動を実施しています。

今後とも、広報ブースを設置し、防衛政策や自衛隊の活動等、広く知っていただけるように、積極的に取り組んでまいりますので、ご来場の際にはお気軽にお立ち寄りください。



広報ブースで配布したパンフレット等



デジタルサイネージ

○陸上自衛隊善通寺駐屯地での広報活動(令和7年4月27日)



陸上自衛隊善通寺駐屯地において開催された、「第14旅団創設19周年及び善通寺駐屯地開設75周年記念行事」で広報ブースを設置しました。

当日は、6年ぶりの市中観閲行進やブルーインパルスBlue Impulseの展示飛行が行われることもあって、朝早くから多くの方が来場されていました。自衛隊車両の体験搭乗待ちの間に、防衛政策や採用関係について熱心に質問して下さる方が多くいらっしゃいました。

○岩国航空基地での広報活動(令和7年5月4日)

岩国航空基地において開催された、「岩国航空基地フレンドシップデー2025」で広報ブースを設置しました。

天候に恵まれ、こちらも朝早くから多くの方が来場されました。配布していたポストカードの中では、岩国航空基地に配備されているUS-2型救難飛行艇が1番人気がありました。

また、中国四国防衛局職員に防衛省の採用について、熱心に質問される方もいらっしゃいました。



完成施設の紹介(陸上自衛隊 米子駐屯地) ～隊員の生活環境及び勤務環境の改善と環境への配慮の両立～

調達部は、中国地区5県及び四国地区4県に所在する自衛隊駐屯地・基地等や在日米軍基地における施設の建設工事などの業務を担っています。今回の完成施設は、鳥取県米子市の陸上自衛隊 米子駐屯地において、隊舎や庁舎の空調設備の更新工事を行ったものです。

空調設備の整備は、昨今の酷暑化、猛暑を踏まえると、その老朽化や不具合は、熱中症など隊員の健康に直接影響を及ぼします。今回、整備した建物の既存空調設備は、非常に老朽化し、機能が著しく低下していたため、更新を行ったものです。既存の空調方式は、「ファンコイルユニット」という方式で、機械室に設置した熱交換器で発生させた冷温水を建物全体に這わせた配管に循環させ、建物全体の空調を一括して行う中央方式※1となっておりましたが、今回、「パッケージ型空気調和機※2」による個別方式を採用しました。同方式は、機械室への大型設備や建物全体への配管が不要であり、施工性及びメンテナンス性に優れると共に、各部屋・フロア毎の運用方法に合わせ、個別に柔軟な運転が可能であり、高効率で省エネかつ省Co2にも資するものとなっております。

今回の整備により、隊員の健康管理や士気の向上につながるとともに省エネルギー、経済性、環境にも資するものとなりました。

※1 中央方式は機械室の水冷式チリングユニット及び熱交換器により発生させた冷温水を冷水水ヘッダーにより各部屋に供給することで空調を行う方式で、建物全体を一括して管理することに適した方式です。

※2 個別方式は各室毎に設置した室内機及び室外機にて熱交換を行い空調を行う方式です。各部屋にて個別に運転調整ができるのが特徴です。

after



パッケージ型空気調和機(室内機)



パッケージ型空気調和機(室外機)

before



既存のファンコイルユニット



既存の中央方式の機械室



中央方式撤去後の機械室



桜が咲き始め、春の訪れを感じる令和7年4月1日、当局に新規採用者16名が仲間入りしました。

新たな門出を迎える新規採用者に対して田實局長から激励の言葉が伝えられ、新規採用者は同期の絆を深め協力し、防衛省に課された使命を共に果たすべく決意を新たにしました。

今後は当局で共に働く数多くの先輩方のサポートを受けながら様々な課題や困難を乗り越えるたくましさを身につけ、人間的に大きく成長することを期待しております。

実際に勤務してみたの心境

～・～・～・～・～・～・～・～

・上司や先輩方がとても優しく業務を教えてください、話しかけてくださるため、とても楽しく勤務させていただいています。

・国民の信頼を得るために非常に重要な業務だと思うので、責任感をもって仕事に取り組みたいです。

・今の部署でどのようなことが出来るのか毎日勉強中ですが、個人的に楽しく仕事をやっていきたいです。

・実際に基地に赴き、自衛隊の部隊を間近で見ることが出来る場所にやりがいを感じています。

・やりがいや楽しいところはまだわからない事も多いですが、気負うことなくのびのびやっています。有休を取得した日は楽しく過ごしています。



・局内研修



・航空自衛隊美保基地 現地研修（施設見学）



・航空自衛隊美保基地 現地研修（営内生活体験）



令和7年4月10日、11日及び17日、18日において、令和7年度中国四国防衛局初任者研修を実施しました。

前半は、中国四国防衛局が担う業務について講義を行い、当局職員としての基礎知識の習得に努めるとともに、入省2年目の先輩職員との座談会を行い、職員同士の交流を深めました。

また、後半は、航空自衛隊美保基地の全面協力を得て現地研修を行い、概況説明の後、施設見学及び営内生活体験を通じて、部隊との関係性や当局が担う役割について理解を深めました。

研修生からは、「部隊についてなど、今後の業務にも活用できる知識を学べた」「研修を通じ、同期の絆を深める事ができた」などの意見が寄せられました。



中国四国防衛局 人事異動のご挨拶(令和7年4月1日付)



みうら せいだい
(総務部長 三浦 誠大)

4月1日付で中国四国防衛局総務部長に着任しました三浦誠大です。

今年は昭和100年、戦後80年という年ですが、このようなタイミングで長崎県出身の私が、初めて広島生活することとなったことに何か不思議な縁を感じております。

前職は市ヶ谷の防衛省地方協力局労務管理課において、在日米軍の施設・区域で在日米軍の活動を直接支えておられる在日米軍従業員の皆様の労務管理業務に携わっておりました。

当局管内には、陸上、海上及び航空の3自衛隊の重要な施設に加え、在日米軍岩国航空基地など、我が国の安全保障上、極めて重要な施設が多数所在しております。

我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増すなか、これら施設の安定的な運用のため、自治体の皆様や住民の皆様からのご理解とご協力をいただけますよう、業務に当たってまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

広島へ参りまして二ヶ月が過ぎましたが、徒歩出勤をした際には平和大通りの素晴らしさを感じ、昼休みには広島城、平和公園を散策、夜は流川に迷い込み、土日には江田島、出雲などに足を伸ばすなどしております。

今後、中国四国の各地を巡り、広島生活を楽しまたいと思います。

新しい防衛事務所長が着任しました。
引き続き地域の窓口として、よろしくお願いいたします。

美保防衛事務所長

玉野防衛事務所長

岩国防衛事務所長

高松防衛事務所長



せのお よしひろ
妹尾 吉弘



いまい たかし
今井 孝志



きのした けいすけ
木下 恵介



きむら のりひさ
木村 哲久



中国四国防衛局 退職者表彰(令和7年3月31日)

令和7年3月31日、中国四国防衛局を退職される2名に対し、局長表彰状を授与しました。

積年にわたる職務のご労苦に感謝するとともに、培われた経験や築かれた財産を今後とも大事に引き継いでまいります。

(前列左より)

橋本 優子(総務部会計課)

藤井 裕二(調達部)



中国四国防衛局 玉野防衛事務所のご紹介

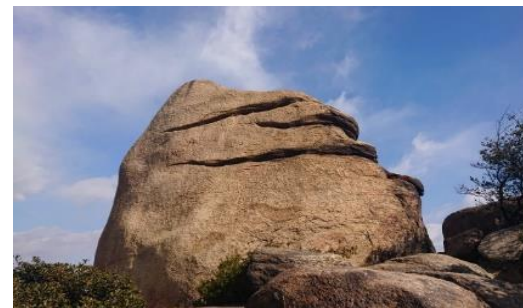
玉野防衛事務所は晴れの国、岡山県南部に位置する玉野市に所在し、昭和29年11月調達実施本部大阪支部玉野地区監督官事務所・中国地区原価監査官事務所として発足しました。その後、幾度かの改称を経て、平成19年9月の防衛省組織改編で地方防衛局が編成されたことで装備本部隷下から中国四国防衛局隷下となり、中国四国防衛局玉野防衛事務所に改称され、現在に至ります。

主要業務としては、岡山県、鳥取県及び四国全域(徳島県の一部除く)における調達品及びこれに関する役務に係る原価監査、監督検査及びその他契約の履行に関する業務を幅広く行っています。

対象品目は、船舶類(船舶、エンジン、プロペラ、錨鎖等)、石油類(燃料、潤滑油)、需品(落下傘、短靴等)、戦車砲用弾薬等、多岐にわたります。

また、岡山県玉野市には、「日本の渚百選」や「快水浴場百選」にも選ばれている、県下最大の「渋川海岸」や、瀬戸内海国立公園に指定されており、巨岩や奇岩が重なり合い、山頂からは瀬戸大橋の全景や、瀬戸内海の多島美が一望できる「王子が岳」等があります。

さらに、宇野港には直島、豊島や小豆島を結ぶ航路があり、3年ごとに開催される瀬戸内国際芸術祭の島々への玄関口として位置しています。(令和7年4月から3期に分けて11月まで開催)



王子が岳のニコニコ岩



深山公園さくらまつり



たまの・港フェスティバル



中国四国防衛局 職員日記(玉野防衛事務所)

広報誌をご愛読の皆さん、はじめまして。玉野防衛事務所(岡山県玉野市)で検査官として勤務している鈴木と申します。弊所で勤務し早1年半が過ぎました。私は普段、防衛省向け装備品の中でも、特に、玉野市で建造される「艦船」の監督検査を担当しております。艦船に搭載される各種機器の検査を実施し、品質を担保することが私の仕事です。自身の担当した自衛艦が引渡しを迎える瞬間は、まさに感慨深く、勤務にやりがいを感じる瞬間です。

玉野市は南は海、北は山に囲まれた自然豊かな地域です。気候も穏やかで非常に過ごしやすく、休日には潮風を感じながら家族と散歩することが癒やしくなっています。

(写真は「たまの・港フェスティバル」時のもの。)

玉野での勤務も残り僅かとなりますが、引き続き公私ともに充実した日を過ごしていきたいと思っております。皆さんも風光明媚な「玉野市」にぜひ足をお運びください。



(玉野防衛事務所
2等海尉 鈴木 拓実)



中国四国防衛局採用広報活動

2026年度採用に向けて、随時業務説明会を実施しています。

【令和7年度業務説明会の予定】
(行政・事務系、技術系)

大卒程度対象：5月～7月

高卒程度対象：9月～10月

業務説明会の風景



仕事内容は？
職場の雰囲気は？
そんな素朴な疑問にも
お答えします！

防衛省HP



案内・詳細はこちら

中国四国防衛局のX（旧Twitter）では、
中国四国管内のイベント情報の他にも
採用に関する情報を掲載していますので、
こちらぜひご覧ください。



X



地方防衛局採用パンフレット



地方防衛局の業務内容、
キャリアパス、Q&Aなどを
掲載した採用パンフレット
です。ぜひご覧ください。

【お問い合わせ先】

ご不明な点は下記連絡先までお気軽にお問い合わせください

中国四国防衛局総務部総務課人事係採用担当

☎082-223-7105（直通）



在日米軍基地で勤務する従業員募集のお知らせ



エルモでは、在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。
興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。か、下
記の支部にお問い合わせください。

※求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報
がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されま
すので御利用下さい。

【X】

求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。
ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

「在日米軍従業員求人情報（エルモ）@LMO_recruit」

【X】



<https://www.lmo.go.jp>

LMO

検索

【窓口応募受付・お問い合わせ先】

■エルモ岩国支部管理課管理係 ■エルモ岩国支部呉分室

住 所：岩国市中津町2-15-35

住 所：呉市中央1-6-9センタービル呉駅前

電 話：0827-21-1271

電 話：0823-32-7087

担当施設：岩国飛行場

担当施設：広島県内の在日米軍施設

エルモホーム
ページ



求人情報

本州・九州の基地

